

高いのかな

どこで
買えるの？

髪が抜けますと言わされた方へ

どうやって
調べればいい？

自然かな？

ウイッグを買いたい と思ったら

ウイッグを探すヒントはこちら！

どんなウイッグ
でもOK



医療用やがん患者用と称した製品でなくても、自分に似合って気に入れば、それでOK！
ファッション用を使いこなしている人もたくさんいます。

洋服と同じ！
特別でなくて
いい！



洋服と同じようにウイッグも選んで大丈夫。素敵なデザインを選びましょう。分け目も意外と人は見ていません。

まずは1個！
ほどほどの値段で
試してみる



何かあったら買い替えればいいや、
と思えるくらいの製品を
まずは選んで試してみましょう。

実際に調べてみよう！

① まずはインターネットで調べてみよう

最近では、紙のパンフレットも少なくなっています。
どこで売っているのか、どんな製品があるのか、簡単に調べられるのがネット検索です。
「ウイッグ 買い物したいエリア（例：横浜）」などと入れると近隣のお店を探しやすいです。
ネット検索が苦手な人は、手伝ってくれる人を探してみましょう。
「医療用」「がん患者用」などのワードを入れると高額品が出てきやすいです。



② チェックするのは「髪型」と「値段」でOK

ネットでウイッグを調べると、素材や製法、耐久性など様々な情報が出てきます。
でも、医学的に使用が勧められる特別な「医療用」ウイッグはありません。
洋服を選ぶときと同じように **ウイッグもデザインと値段からチェックして大丈夫。**
ネットで購入される方は、「返品」できるかチェックしておくと安心です。



③ 画像検索が便利です

「性別」「髪型（ショート・ロング・ボブなど）」「年代」「ウイッグのタイプ（フルウイッグか、前髪ウイッグか、など）」を入力して好みの製品を探してみましょう。
この時、画像検索というところをチェックすると写真が出てくるのでイメージしやすいです。

④ インターネットの情報は、広告として見よう

ネットで出てくるウイッグの情報は、ほとんどが販売側から提供されたものです。
ランキングサイト、口コミやブログの情報も、個人の体験であり、全ての人に合うとは限りません。

実際に買うとき、こんなことが心配！

1 サイズはあるの？

洋服と同じで、**サイズ表記はメーカーによって違います。**フリーサイズのものも多いです。また、サイズ調整用のアジャスターが付いていて、自分で微調整できるものがほとんどなので安心を。オーダーメイドでなくても充分使えます。



2 同じ髪型がない！

今と全く同じ髪型を探そうとするとムズカシイ。色・長さ・髪型の範囲を広げて探すとよいです。周りの人に「あれ、髪型変えたの？」と聞かれたら「うん、似合う？」と答えればOK。

案外まわりは髪型を変えた理由を気にしませんよ。



3 かぶってみたらなんか変！→ 前髪を切ってみよう

かぶってみたらなんなくしきりこない。そんなときは**かぶり方を見直しましょう。**曲がっていたり、かぶりが浅かったりしませんか？また、たいていのウィッグは前髪が長いので、カットして整えるとしきりくことがあります。理美容室やウィッグを扱う店に相談してみましょう。もみあげが欲しい時は、眉用パウダーで描くとよいです。

4 暑い時期はどうしよう？

自分の毛でも、夏場は暑くて汗ばむもの。ウィッグも同じです。ただ、地毛よりも地肌に汗が流れるので不快さが増して感じることも。ウィッグと頭皮の間に汗取り用の布を挟むと**汗対策**になります。ひどく汗をかいたらウィッグを外し、デオドラントシートで頭を拭いてさっぱりさせてから、乾いた布に取り換えるとすっきりします。1日使ったウィッグの内側には、消臭スプレーをしておくのがおすすめです。

色々な方法があります！

孫に買ってもらいました。

ネット検索は苦手なので、孫に手伝ってもらいました。ちょっと若々しいけど気に入っています。



1万円以下のウィッグを購入し、2か月ごとに同じデザインのものに買い替えていました。

メンテナンスをしなくて済んだので楽でした。美容室代やヘアケア用品代を考えると年間5～6万円くらいは妥当だったかなと思います。



おしゃれウィッグのお店に行きました。

最初に予算を伝え、あとは洋服のようにデザインの好みで選びました。それで何も問題なく過ごせました。



フリマサイトで手に入れました。

安いものをいくつも買って使い回しています。似合わなかったらフリマに出して売っています。



問合せ先



医療の視点
YOKOHAMA